社会とつながり、心豊かに



## 女性大学

- 令和5年度 第2期 えるのす連続講座 -

開催

報告

9/26 (火)



猛暑続きの夏が過ぎ去り、空もようやく秋色を帯びてきたように感じる9月26日、令和5年度第2期えるのす連続講座〜女性大学〜が開講しました。第1講目は北海道大学大学院文学研究院の櫻井義秀教授をお迎えし、「宗教とウェルビーイング」というテーマでお話しいただきました。ウェルビーイングとは「幸せに生きる」ことであり、身体的な健康だけではなく、精神的・社会的に満たされていることを意味する概念です。本講義では、常識的・哲学的な観点からの「幸せ」について触れ、日本のウェルビーイングの特徴について、世界と比較しながら学びました。

10/3 (火)



第2講目は、北海道立近代美術館学芸統括官の土岐美由紀氏をお迎えしました。 「片岡球子と戦後の日本画」というテーマで作品を映像で鑑賞しつつ、前半は球子の生い立ちや「落選の神様」と呼ばれた不遇の時期を乗り越え、画家として躍進する姿とその画風の変化について、わかりやすく解説いただきました。後半では、道立近代美術館で開催中の「揺さぶる絵ー変貌する日本画のイメージ」の展覧会をご紹介いただくとともに、戦後の変わりゆく日本画の新しい表現についてお話しいただきました。画家や作品、その時代背景など目には見えない部分をたっぷり2時間、優しく解説していただき、美術鑑賞の楽しみ方を学ぶことができました。

10/10 (火)



第3講目は北海学園大学法学部法律学科の神元隆賢教授をお迎えし、昨今被害の絶えない「特殊詐欺の現状と対策」について、お話いただきました。特殊詐欺は2021年から10種類に分類されるようになり、巧妙な手口で今もなお被害者が後を絶ちません。本講義では、実際に起こった特殊詐欺の実例に触れ、犯罪手口別にみる近年の動向から防犯意識を高めることで被害者にならないための具体的な対策について学びました。

10/17 (火)



第4講目は北海道大学大学院農学研究院長の野口伸教授をお迎えしました。「これからのスマート農業 - 新しい地域社会の創生 - 」をテーマに日本農業の現状と今後目指す姿について学びました。農業従事者の減少や高齢化により、若手の新規就農者を増やすことが喫緊の課題となっています。スマート農業の導入により、経験値を要さない農業の実現や労働時間の削減が容易になり、農業に対する今までのイメージを覆す技術開発が進んでいます。講義では、実際に無人のトラクターが農作業を進める動画などを視聴し、最新の技術に触れることが出来ました。

10/24 (火)



第5講目は北海道大学大学院文学研究院の宮下弥生助教をお迎えし、「シェイクスピア作『冬物語』のヒロインたち」をテーマに王妃のハーマイオニに焦点を当て、その魅力に迫りました。翻訳では伝わらない英語原文を丁寧に解説していただきながら、どのように未来への希望が表現され、読者を導いていくのかを考察し、物語を読み進めました。この講義をきっかけに映像や劇などでも作品に触れたくなる余韻を残すような2時間でした。

社会とつながり、 心豊かに



## 女性大学

- 令和5年度 第2期 えるのす連続講座 -

開催

報告

10/31 (火)



第6講目は札幌市立大学看護学部の守村洋准教授をお迎えしました。「女性のストレスとこころの健康〜メンタルヘルス〜」をテーマに女性のライフステージにおけるメンタルヘルスの課題について知り、演習を交えて正しい知識を習得をしました。また、メンタルヘルスを日常生活の中で維持・増進するための術としてWRAP(Wellness Recovery Action Plan)が有効であることを学び、受講者それぞれの「元気に役立つ道具箱」を作成することで受講後にも活かせるものとなりました。

11/7 (火)



第7講目は北海道大学大学院理学研究院の髙橋浩晃教授をお迎えし、「北海道で起こる地震・自然災害に備える」をテーマにお話しいただきました。自然災害対策として、被災地の事例を元にどのような備え・注意が必要なのかを学びました。防災の意識を高く持つことは大切ですが、あれもこれもと欲張ると疲弊してしまいます。肝となる対策に焦点を当て、わかりやすく解説いただいたことで冬の到来を前に防災の意識を見直すきっかけとなりました。

11/14 (火)



第8講目はNPO法人札幌カラス研究会代表理事の中村眞樹子氏をお迎えし、「知っているようで知らないカラスの話」をテーマに知られざるカラスの生態に迫りました。カラスに恐怖心を抱いている方の気持ちにも寄り添いながら、その生態についての誤解を解いていく点がとても印象的な講義でした。カラスへの誤解は、ヒトの行動がそもそもの原因となっていることが多く、日々の生活の中で反省する点も多々あります。より沢山の人に知ってもらい、カラスとの共存を考えていく必要性を感じました。

11/21 (火)



第9講目は北海道武蔵女子短期大学教養学科の本宮洋幸教授をお迎えし、「紫式部の生涯をたどる」をテーマに2024年のNHK大河ドラマ予習講義を行いました。今回の講義では、物語の他、歌集や日記から垣間見える紫式部の生涯を追い、受講者それぞれに人物像を描きながら聴講しました。「源氏物語」の作者として有名な紫式部ですが、実は不確かな情報が多く、手探りでの推測が重ねられてきたそうです。それ故に大河ドラマでは紫式部がどのように描かれていくのかという点が見どころになりそうです。

11/28 (火)



冬の到来を感じるような本格的な寒さが続く11月28日、令和5年度第2期えるのす連続講座〜女性大学〜は閉講しました。最終回となる第10講目は北海道新聞社論説 委員室論説主幹の蛭川隆介氏をお迎えし、「現在(いま)を知る」をテーマに世の中の動きや出来事を読み解き考えました。講義の導入部分では、北海道新聞社の論説委員室の仕事について触れ、一つの社説を作り上げるために、いくつもの議論が重ねられていることを知りました。後半は主に1990年代の政治の動きを振り返り、現代の政権に至るまでの日本政治の変革についてお話しいただきました。紙面ではわからない「新聞社の裏側」を垣間見ることができ、新聞の奥深さを感じました。